



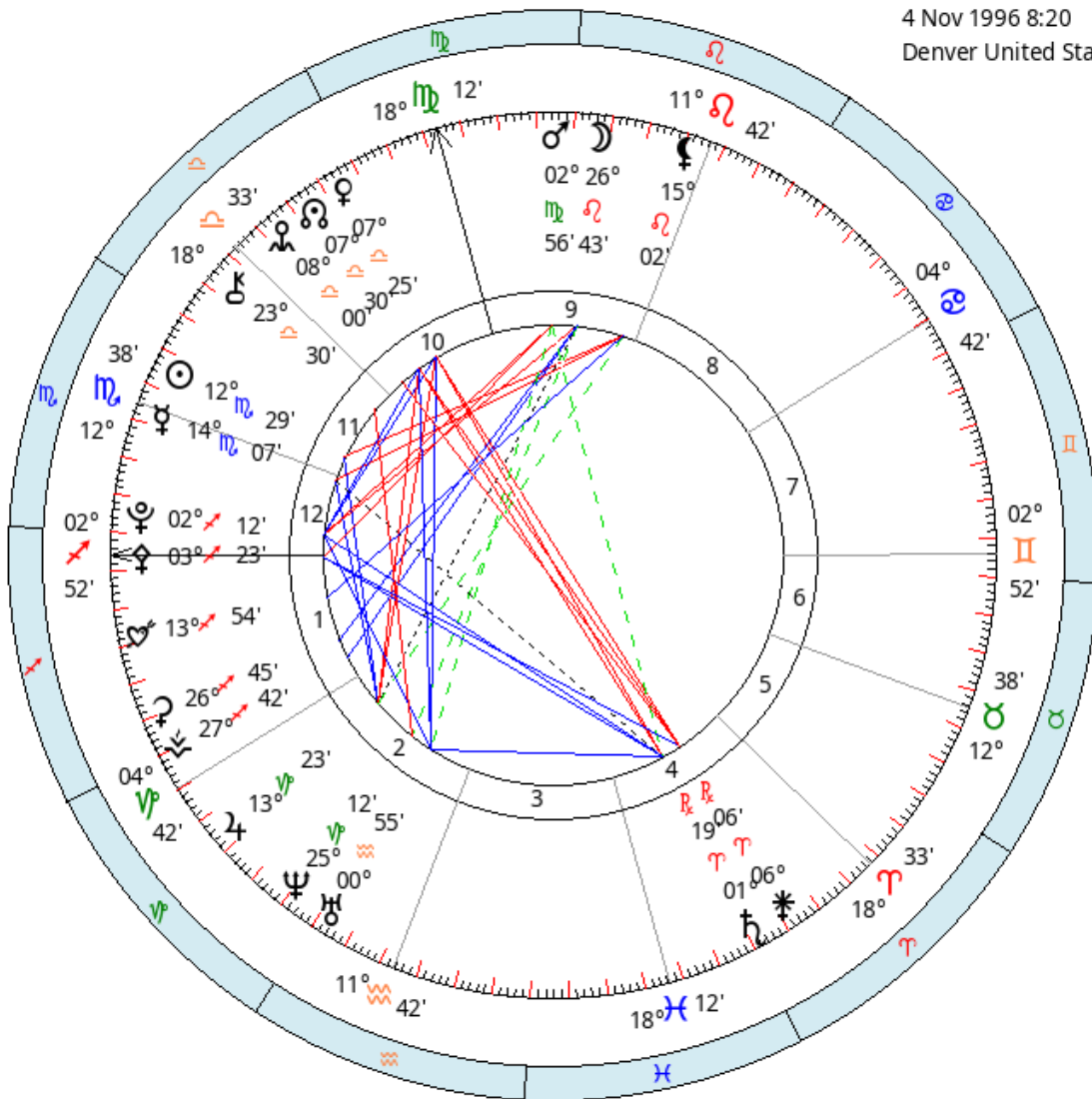
12andus.com

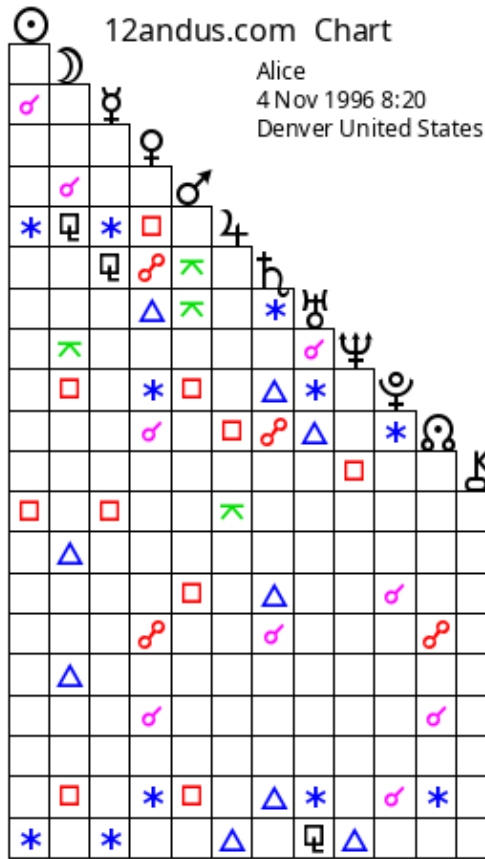
Chart

Alice

4 Nov 1996 8:20

Denver United States





☉ Sun	♏ 12 Sco 29' 15"
☾ Moon	♌ 26 Leo 43' 20"
☿ Mercury	♏ 14 Sco 07' 14"
♀ Venus	♏ 07 Lib 25' 44"
♂ Mars	♏ 02 Vir 56' 16"
♃ Jupiter	♏ 13 Cap 23' 47"
♄ Saturn	♈ 01 Ari 19' 55" R
♅ Uranus	♒ 00 Aqu 55' 14"
♆ Neptune	♏ 25 Cap 12' 38"
♇ Pluto	♏ 02 Sag 12' 03"
♎ True Node	♏ 07 Lib 30' 02"
♏ Chiron	♏ 23 Lib 30' 21"
♁ Lilith	♏ 15 Leo 02' 01"
♁ Ceres	♏ 26 Sag 45' 36"
♁ Pallas	♏ 03 Sag 23' 58"
♁ Juno	♈ 06 Ari 06' 51" R
♁ Vesta	♏ 27 Sag 42' 47"
♁ Pholus	♏ 08 Lib 00' 47"
♁ Eros	♏ 13 Sag 54' 20"
AC Ascendant	♏ 02 Sag 52' 04"
MC Midheaven	♏ 18 Vir 12' 26"



愛の未来を読み解く

これからの恋愛における変化と、その乗り越え方を探ります。

アリスさん、2026年4月から9月にかけて、あなたの恋愛運には劇的な変化と深い自己再発見のプロセスが訪れます。出生図に刻まれた蠍座の太陽と水星の合、天秤座の金星とノースノードの合、そして射手座のアセンダントと冥王星の合は、あなたの恋愛観と人間関係の本質を象徴しています。これらの要素に加え、2026年のトランジットがあなたのパートナーシップ、自己価値、そして愛の表現にどのような影響をもたらすのか、総合的に紐解いていきましょう。

恋愛とパートナーシップの本質：出生図からのメッセージ

まず、あなたの出生図における恋愛の根源的な特徴を確認しましょう。太陽と水星が蠍座で12ハウス（集合無意識と隠された領域）と11ハウス（友愛・未来志向）にまたがっていることは、あなたの恋愛が単なる表面的なものではなく、深い精神性や魂の結びつきを求める傾向

を示しています。愛においては、相手の内面を直感的に感じ取り、言葉にしにくい部分まで理解したいという強い欲求が根底にあります。

天秤座の金星とノースノードの合は、あなたの恋愛が社会的な評価やバランス感覚、調和を重視することを意味します。10ハウスに位置しているため、恋愛やパートナーシップが社会的な立場やキャリアとも深く結びつきやすいでしょう。恋人やパートナーとの関係が、あなた自身の「社会的な顔」や人生の方向性に影響しやすい配置です。

射手座のアセンダントと冥王星の合は、あなたの存在そのものが大きな変容や再生を経験することを示します。恋愛においても、出会いや別れ、関係性の変化が人生観そのものを揺るがすことが少なくありません。あなたの恋愛は、ただ楽しいだけでなく、魂の成長や自己変革を促すきっかけとなることが多いのです。

2026年春～秋の主なトランジット：愛の変容と再構築

2026年の春から秋にかけて、あなたの恋愛運に最もインパクトを与えるのは、牡羊座を運行するトランジットの海王星と土星、そして双子座を進む天王星です。これらの天体が、あなたの出生図のアセンダント、冥王星、金星、ノースノード、土星、ジュノー（結婚・パートナーシップの小惑星）など、恋愛やパートナーシップに直結するポイントと密接に関わってきます。

1. 海王星（牡羊座）トラインアセンダント・冥王星・パラス

2026年5月下旬から9月末まで、海王星があなたのアセンダントと出生冥王星、そしてパラスと調和的なトラインを形成します。この時期は、あなたの恋愛観や自己表現が柔らかく、直感的になり、理屈を超えた「魂のレベルの出会い」や「運命的なつながり」を感じやすくなります。

牡羊座の4ハウスで、海王星が出生土星とジュノーに合となることで、家庭や親密な関係、パートナーシップの土台が見直されるタイミングです。恋愛においても、「本当に心から安心できる関係とは何か」「自分の居場所としてのパートナーシップはどうあるべきか」といっ

た、根源的な問いに向き合うことになるでしょう。

たとえば、長年続いてきた関係において、今まで見過ごしてきた小さな違和感や、逆に「言葉にならない安心感」を改めて感じるようになるかもしれません。この時期は、相手との距離が一気に縮まったり、逆に「この人とずっと一緒にいられるのか」という不安が浮上したりと、感情の波が大きく揺れ動きます。しかし、その揺らぎの中でこそ、あなたが本当に求めている愛の形や、パートナーと築きたい未来像が明らかになっていくのです。

2. 天王星（双子座）オポジションアセンダント・冥王星・パラス

2026年5月下旬から9月末にかけて、天王星があなたのアセンダントと出生冥王星、パラスにオポジション（対立）を形成します。天王星はまた、あなたの出生火星（乙女座・9ハウス）ともスクエア（緊張）となります。この配置は、恋愛や人間関係において「予想外の展開」や「突発的な変化」「これまでのパターンからの脱却」を促す強烈なエネルギーです。

たとえば、今まで安定していた恋愛関係が突然揺れ動いたり、新たな出会いがあなたの価値観や生き方を大きく変えるきっかけになるかもしれません。あるいは、あなた自身が「今までの自分ではいけない」「もっと自由になりたい」と感じて、これまでの関係に一石を投じる場面も考えられます。

この時期の天王星は、あなたの出生図の「変容と再生」のポイントである冥王星と強く絡むため、単なる気まぐれや一時的な変化ではなく、人生の根本を揺るがすような「愛の革命」が起こりやすいのです。

3. 土星（牡羊座）オポジション金星・ノースノード、スクエア木星

2026年4月から5月にかけて、土星があなたの金星・ノースノード合（天秤座・10ハウス）とオポジションを形成し、木星（山羊座・2ハウス）とスクエアとなります。この配置は、恋愛やパートナーシップにおいて「現実的な試練」や「関係性の見直し」「価値観のすり合わせ」が浮上することを示します。

あなたがこれまで理想としてきた愛の形や、社会的な立場、キャリアとのバランスが試される時期です。土星の影響で「本当にこの人とやっていけるのか?」「自分の将来設計とパートナーシップが両立できるのか?」という現実的な課題が表面化します。その一方で、木星へのスクエアは、自己価値や資産、物質的な安定をめぐる葛藤を示します。パートナーシップにおいて「自分がどれだけ与え、どれだけ受け取るか」といったバランス感覚も問われるでしょう。

4. フォルス（山羊座）合木星（2ハウス）、セクスタイル太陽

2026年4月から9月にかけて、フォルスがあなたの出生木星（山羊座・2ハウス）と合となり、太陽（蠍座・11ハウス）とセクスタイルの関係を築きます。この配置は、恋愛を通じて自己価値や経済的な安定、将来的なビジョンが拡大・変容するタイミングです。

恋愛やパートナーシップをきっかけに、経済面や自分の才能・資質を再認識することになるかもしれません。たとえば、パートナーと共同で何か新しいプロジェクトを始めたり、価値観を共有することで新たな収入源を得るなど、現実的な恩恵がもたらされる可能性も高いです。

5. ジュノー・土星・海王星合（牡羊座・4ハウス）

この時期、ジュノー（結婚・パートナーシップの小惑星）と土星、海王星が4ハウスで重なります。これは「家庭」「安心できる場所」「心の帰る場所」としてのパートナーシップの再構築を促します。あなたが本当に安心できる関係性や、精神的な絆を求めていく流れが強まるでしょう。

このトリプルコンジャンクションは、恋愛や結婚が単なる契約や社会的な枠組みを超えて、「魂の約束」や「無条件の愛」として体験されることを示唆します。同時に、土星の現実的な目線が入ることで、理想と現実のギャップに悩む場面も出てくるでしょう。けれども、海王星の癒しの力が「過去の傷」や「古いパターン」を浄化し、より成熟した関係性へのステップアップを後押ししてくれます。

恋愛のシナリオ：二つの具体的な場面

シナリオ1：突然訪れる「運命の出会い」と人生の方向転換

あなたが友人の紹介で参加したアートイベント。普段はあまり気乗りしない集まりなのに、なぜかその日は足を運ぶことに。会場で出会った一人の人物に、これまで感じたことのない強烈な引力を覚えます。会話を交わすうちに、相手の価値観や人生観があなたの「今までの自分」を大きく揺さぶるのを感じるでしょう。

その日の帰り道、あなたは「この人と出会ったことで、私の人生は大きく変わるかもしれない」と直感します。しかし同時に、今のパートナーや仕事、住環境など、これまで大切にしてきたものを手放す覚悟も求められることに気づきます。

このシナリオは、天王星がアセンダントと冥王星にオポジション、火星にスクエアを形成する時期特有の「運命的な出会い」を象徴します。突発的な出会いが、あなたの人生観や愛の在り方を根底から変える可能性が高いのです。

シナリオ2：パートナーシップの再構築と「安心できる居場所」へのシフト

長年付き合ってきた恋人との関係に、なんとなく違和感やマンネリを感じていたあなた。ある日、相手から「一緒に新しい住まいを探さないか」と提案されます。最初は戸惑いを感じつつも、二人で家を探したり、インテリアを選んだりするうちに、今まで気づかなかった相手の優しさや思いやりに触れ、関係性が新たな段階へと進み始めます。

しかし、時には「自分の自由が制限されるのではないか」「この人と本当に将来を共にできるのか」といった不安も湧き上がるでしょう。そんなとき、あなたは自分の心の奥底にある「安心できる居場所」への渴望に気づきます。そして、理想と現実のギャップに悩みながらも、二人で乗り越えていくことで、より深い絆と信頼が育まれていきます。

このシナリオは、海王星・土星・ジュノーの合がもたらす「家庭」「安心できるパートナーシップ」の再構築、土星の厳しさと海王星の癒しが共存する時期を象徴しています。

恋愛運の流れと自己変革

2026年春から秋にかけて、あなたの恋愛運は「古い価値観やパターンの終焉」と「新しい愛の形への目覚め」が同時に訪れる、まさに転換期です。天王星の衝撃的な変化と、海王星・土星の深い癒しと再構築のプロセスが、あなたの内側と外側の両面で進行します。

特に、恋愛やパートナーシップが「自己価値」や「経済的安定」「社会的な立場」と密接に結びついているあなたにとって、土星と木星、フォルス、ノースノードなどのトランジットは、「愛と現実のバランス」を再定義するきっかけとなるでしょう。

内なる葛藤と成長

この時期、あなたは「もっと自由に自分を表現したい」という衝動と、「安心できる関係性を築きたい」という欲求の間で揺れ動きます。天王星の影響で、今までの自分では満足できなくなり、「新しい愛の形」や「未知の可能性」を求めて行動したくなるでしょう。

一方で、土星や海王星の影響で、「本当に自分らしくいられる居場所」や「魂のレベルで安心できるパートナーシップ」を求めて、内面的な探索が深まります。過去の恋愛で傷ついた経験や、家族との関係性が浮上し、それを癒すプロセスも同時に進みます。

パートナーとの関係性の見直し

現在パートナーがいる場合、この時期は二人の関係性の「本気度」や「将来性」が問われるでしょう。土星のオポジションやスクエアは、関係性に現実的な試練や課題を持ち込みますが、それは決して「別れ」だけを意味するものではありません。むしろ、二人で課題を乗り越えることで、より深い信頼と絆が育まれる可能性が高いのです。

新しい出会いが訪れた場合、それは単なる恋のときめきではなく、あなた自身の価値観や人生観を根底から変える「魂の出会い」となる可能性が高いです。ただし、天王星のエネルギーは「一気に燃え上がって一気に冷める」傾向もあるので、急激な変化に流されすぎず、土星の現実的な視点も忘れないようにしましょう。

自己価値と経済的なテーマ

フォルスと木星、土星、木星のスクエアなど、2ハウス（自己価値・資産）への影響も強いため、恋愛を通じて「自分の価値をどう認識するか」「パートナーとどのように経済的な協力や分担をしていくか」といったテーマも浮上します。恋愛がきっかけで新たな収入源が生まれたり、パートナーと共同で何かを築き上げることになるかもしれません。

恋愛運を活かすためのアドバイス

1. 変化を恐れず、柔軟に対応すること

天王星の影響で予想外の出来事が起こりやすい時期ですが、変化を恐れずに「新しい愛の形」や「未知の可能性」に心を開いてみてください。

2. 理想と現実のバランスを大切に

海王星の夢や理想と、土星の現実的な課題が同時に浮上します。理想に偏りすぎず、現実的な視点も忘れずに、着実に関係性を築いていきましょう。

3. 自分自身の価値観を再確認する

フォルスと木星の影響で、恋愛を通じて自己価値や生き方を見直すタイミング。パートナーとの関係性の中で「自分は何を大切にしたいのか」を明確にしましょう。

4. 過去の傷を癒し、未来への信頼を育む

海王星と土星、ジュノーの合は、過去の恋愛や家族との関係で受けた傷を癒し、より成熟した愛の形へと進むことを促しています。自分を

責めすぎず、相手にも完璧を求めすぎず、優しさと信頼を育てていきましょう。

5. パートナーや家族との対話を重ねる

4ハウスの影響が強い時期なので、パートナーや家族とのコミュニケーションを大切に。心の奥底にある不安や希望を率直に伝え合うことで、より深い理解と絆が生まれます。

最後に

2026年春から秋は、あなたの恋愛人生において「変容」「再生」「新たな希望」のテーマが色濃く現れる時期です。突発的な出会いや別れ、関係性の再構築、自己価値の再認識など、さまざまな出来事を通じて、あなたはより成熟し、魂レベルで満ち足りた愛へと導かれていくでしょう。

自分自身の気持ちに正直に、そして相手との対話を大切にしながら、愛と人生の新たな章を歩み出してください。